

科目名		老年看護学		単位(時間)	5単位 165時間
担当講師名		専任教員 他		DP	1・2・3・4
科目設定理由		老年看護学は、さまざまな健康障害をもつ高齢者に対して、もてる力を活用しながら対象の思いを尊重し、その人らしい生活の再構築ができるように支援するための看護を学ぶことを目的に設定しています。 高齢者の理解Ⅰでは、高齢者体験を通して老年期にある対象の特徴、高齢社会における保健・医療・福祉サービスや看護の役割など老年期の対象に対する基礎的知識と対象を生活機能の観点からアセスメントするために必要な老年看護の概念について学びます。 高齢者の理解Ⅱでは、健康障害をもつ高齢者の主な疾患と症状について理解を深めるとともに、様々な健康状態にある高齢者の看護を学びます。 高齢者に対する看護技術では、これまでの既習学習を活かし、高齢者の特徴をふまえ生活機能の観点から対象を捉え、対象に必要な看護を実践する方法について学習します。 高齢者看護実習では、加齢や疾病により身体機能が低下した高齢者に対して、生活機能の観点からアセスメントし、高齢者のもてる力を生かせるよう「目標志向型思考」で看護を考えることを学びます。そして、加齢に伴う変化と健康障害や日々の変化を捉え、さまざまな場でその人らしく「老いを生きる」ことを支える看護を学びます。			
科目構成	科目名	高齢者の理解Ⅰ	高齢者の理解Ⅱ	高齢者に対する看護技術	
	単位時間	1単位 15時間	1単位 30時間	1単位 30時間	
	履修時期	31期生 1年次前期	30期生 2年次前期	30期生 2年次後期	
	学習範囲	1 高齢者看護の基盤 2 高齢者をとりまく社会と倫理的課題 3 高齢者の理解	1 治療をうける高齢者の看護 2 健康逸脱からの回復を促す看護	1 高齢者の生活機能を支える看護	
	科目名	高齢者看護実習			
	単位時間	2単位 90時間			
	実習のねらい	「高齢者看護実習」は、加齢に伴う変化とそれらの変化が生活に及ぼす影響を捉え、社会や他者からの支援を受けながら生活する高齢者に対する看護を理解する実習です。 「施設実習」では、入所者の特徴を理解するとともに日常生活の支援や関わり方、入所者がその人らしく施設で生活するためにどのような支援を行っているのかを学ぶ実習です。指導者の関わりを見て、高齢者の生活を看護師がどのように支えているのか考えましょう。 「外来実習」では地域に暮らしながら継続的に治療を行う高齢者と関わります。そこでは通院の場面1つをみても、家族や施設などに支えられる高齢者や独居など、さまざまな環境で暮らす高齢者と関わることができそうです。いろいろなこだわりやその人らしく生活していくためにどのような対応がされているか知ることができるでしょう。 「病棟実習」では、健康を障害された高齢者の日常生活を整える看護を学びます。高齢者の生活を整えるためには、加齢に伴う変化や現在の生活行動、そして思いを捉えることが大切となります。高齢者のもてる力を維持・継続し、その人らしい日常生活を安全かつ穏やかに過ごすことができるような看護を目指しましょう。 高齢者との関わり方に戸惑うかもしれませんが、今まで学習したことを基盤として高齢者の個別性の尊重、自尊心の尊重、人権と権利擁護について考えながら、さまざまな健康レベルにある高齢者と積極的に関わり、高齢者の理解につなげていきましょう。そして、高齢者の加齢に伴う変化と高齢者が生きてきた生活や価値、信念に着目し、高齢者が望む(あるいは望むであろう)人生の統合に向けてその人らしく「老いを生きる」ことを支える看護について考えていきましょう。			